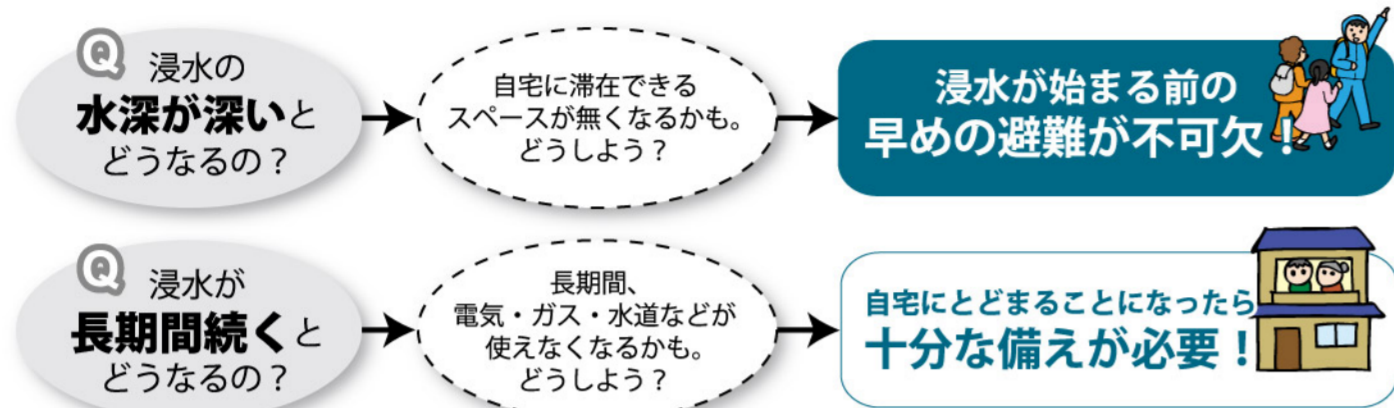


# 逃げどきマップで考えよう！ 洪水・土砂災害からの避難対応

逃げどきマップは、どのような行動をどんなタイミングで行うべきなのかを示したものです。国土交通省と埼玉県が、およそ1000年に1度の確率で降る大雨による浸水による浸水想定を計算し、浸水の深さ、家屋が倒壊するおそれのある区域、浸水が長く続くと長さの結果及び、埼玉県が調査した土砂災害により人的被害のおそれがある区域に基づいて作成しています。



## 逃げどきマップの使い方

- 1 お住まいの地区を右ページの逃げどきマップ市内全域図で確認し、逃げどきマップを開く。
- 2 逃げどきマップ上で自宅の位置の色と模様を確認する。
- 3 逃げどきマップ各ページ左側の質問項目に従って自宅の危険性を判定する。

Q1 から矢印をたどって、判定結果を確認しよう。

Q1 自宅に「あかび」がかかっていますか？ 浸水が速く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域	はい	判定結果	滞在不可
Q2 自宅に「あかび」がかかっていますか？ 洪水の際に地面が削られるおそれがある区域	はい	判定結果	滞在不可
Q3 自宅に「あかび」がかかっていますか？ 3日以上浸水が長くおそれがある区域	はい	判定結果	滞在不可
Q4 自宅に「あかび」がかかっていますか？ 土砂災害で家が壊れたり、命の危険がある区域	はい	判定結果	滞在不可
Q5 ①自宅の場所は何かですか？ 3階上～4階下浸水	はい	判定結果	滞在可
②自宅の階数は？ 5階建て以上または5階以上ですか？	はい	判定結果	滞在不可
③3階建て以上または3階以上ですか？	はい	判定結果	滞在可
④2階建て以上または2階以上ですか？	はい	判定結果	滞在不可
⑤1階建て以上または1階以上ですか？	はい	判定結果	滞在可

自宅の判定結果は？ → あなたの避難行動は？

滞在不可 → 自宅にとどまることはできません。 → 命を守るために必ず早めの避難が必要です

滞在可 → 自宅の正しい所への避難が可能です。 → まずは避難を検討しましょう。自宅にとどまる場合は十分な備えを！

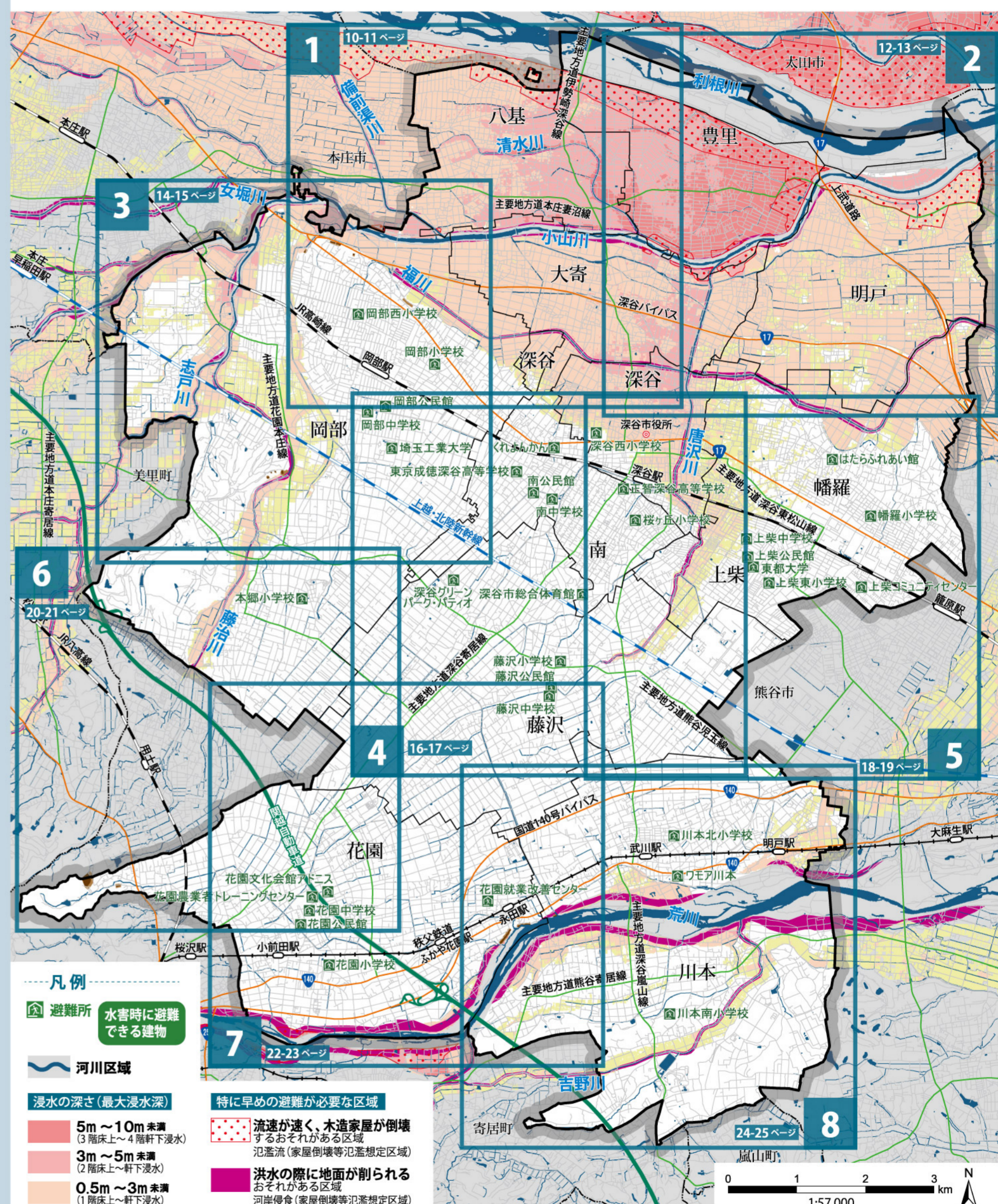
- 4 判定結果をもとにあなたの避難行動を確認する。
- 5 早い段階の避難先と逃げ遅れたときの避難先を検討し、裏表紙に記入する。

家族で相談して、わが家の避難計画（マイ・タイムライン）も記入しよう！

わが家の避難計画（マイ・タイムライン）は、裏表紙

右のマップで自宅のある地区を探し、該当ページの逃げどきマップを見てみましょう！

市内にどんな危険があるか、自宅が浸水したときどの方向に避難すればよいか、確認しましょう。あなたの避難行動は、逃げどきマップで確認しておきましょう。



このマップに使用した洪水浸水想定区域は、以下の河川の想定最大規模の浸水想定区域を重ね合わせたものです。利根川、荒川、小山川、烏川、神流川、福川、吉野川、御陣場川、唐沢川、女堀川、清水川、備前渠川、志戸川、藤治川など